

## 11月臨時会

# 学童保育事業の設備および運営に関する経過措置を延長へ 新たな正副議長の誕生

11月15日に第2回臨時会を開催しました。今臨時会では、学童保育利用者の急増により、学童保育事業所の設備および運営に関する基準の経過措置を延長するための条例改正案や意見書案などを審議し、原案可決・同意されました。

また、森下議長、日吉副議長から辞職願が提出され、正副議長の選挙を行い、新たな正副議長が選出されました。さらに、総合まちづくり特別委員会の新設、常任委員会委員の任期満了に伴う委員の選任など、議会の新体制が決定しました。付託された議案の委員会審査概要、新正副議長あいさつなどは次のとおりです。

## 海老名市学童保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

学童保育事業所について、①児童1人当たりの専用区画面積は1・65平方メートル以上②支援の単位を構成する児童数はおおむね40人以下とし、その支援の単位ごとに支援員を2名以上置くとする規定の経過措置の期間を、平成30年3月31日までからさらに3年間延長するため、条例改正を行うもので、全員賛成で可決されました。文教社会常任委員会での審査概要は次のとおりです。

**問** 現時点で条例に不適合の団体が3団体あるようですが、今後の行政による条例適合の取り組みについて伺います。

**答** 不適合の主な要因は、①不動産物件が見つけにくい②支援の確保が難しいという点です。①について、空き家情報の共有について所管部署と連携を図るほか、不動産協会、宅地建物取引業協会などに協力

**意 見** 今後の子どもの人口推計などを鑑み、保育園との連携など、今後の条例

の運用について抜本的な対応を考えていただきたい。

また、支援員の質の確保、運営の補助については、行政としてしっかり支援していただきたい。

## 新たな監査委員を選任

監査委員に市川敏彦議員が就任しました。市川議員は中野在住で市議会議員5期目の70歳。

同議員は、これまで市議会議長をはじめ、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長、経済建設常任委員会委員長などを歴任しています。

## 意見書を可決

今臨時会において、「道路整備に係る予算の確保及び補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書」が上程され、全員賛成により原案可決されました。意見書の概要は次のとおりです。

市内幹線道路網の計画的な整備による渋滞解消や利便性の向上、安全で快適な道路空間の確保や老朽化対策は、喫緊の課題となっています。

今後も地域における道路整備を計画的かつ着実に推進するため、社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金などについて、安定的かつ十分な予算を確保するとともに、道路財特法における補助率などのかさ上げ措置については、平成30年度以降も継続することを強く要望するものです。

## 議長・副議長 就任あいさつ

### 議長



倉橋 正美  
(創志会・6期)

このたび、海老名市議会議長に就任し、その重責に身の引き締まる思いでございます。

議員一人ひとりが十分に役割を果たし、「開かれた市議会」の更なる推進を実現し、市民の皆様の信頼と期待に応えられるよう、公正・公平な議会運営を目指してまいります。

今後とも、皆様の議会に対するご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。そして、ご挨拶とさせていただきます。

### 副議長



宇田川 希  
(創志会・2期)

このたび、海老名市議会副議長の要職を担うことになりました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

二元代表制の一翼を担う議会として、行政のチェック機能はもとより、市民の皆様の期待と負託に応えるよう、議長を補佐しながら副議長の職を誠心誠意努力してまいる所存でございます。

今後も皆様のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。